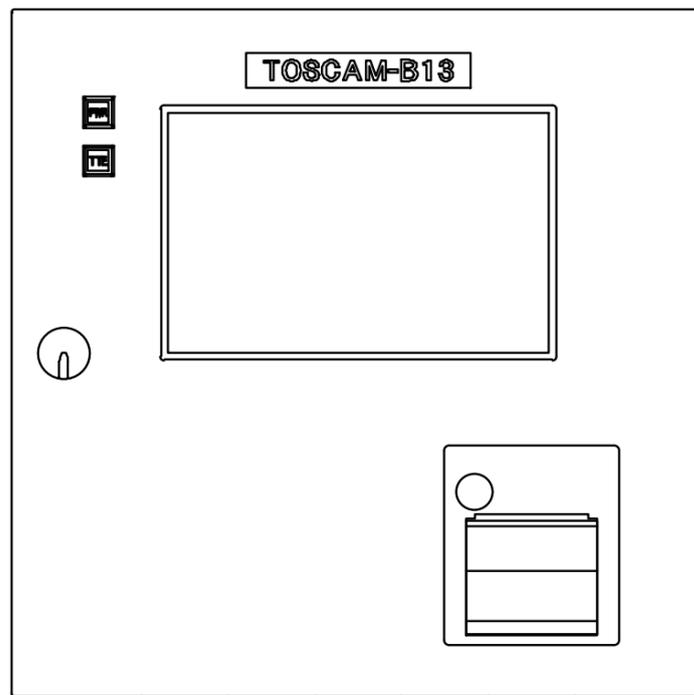


開示説明書（ライセンス情報）

自動検針装置



目次

目次	1
1. オープンソースソフトウェアのライセンス情報.....	2
1.1. GPL/LGPL ソフトウェアについて.....	2
1.2. その他（GPL/LGPL 以外）のライセンスについて	3
1.3. オープンソースソフトウェアとライセンスタイプ	4
2. オープンソースソフトウェアの開示請求を行う場合.....	5
2.1. アクセス方法	5
2.2. 問い合わせの記入方法	5

1. オープンソースソフトウェアのライセンス情報

本製品にはフリーソフトウェア財団の GPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品をご購入されたお客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、ソースコードのライセンスに従い複製、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

1.1. GPL/LGPL ソフトウェアについて

(1) ライセンスについて

ソースコードは現状のまま、かつライセンスに基づき提供されます。

各ソースコードのライセンスの種類は 1.3 項をご確認ください。

ライセンスについては 2 項によりお問い合わせください。

(2) 著作権について

本製品で使用しているソフトウェアの著作権はソースコードに記載の著作権者に帰属します。

(3) 免責事項

GPL に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。

この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますが、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権者やその他の第三者は、一切の保証なく、"as is" (現状) の状態で、かつ、明示か暗黙であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントを提供します。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての暗黙の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関する全てのリスクはお客様が負うものとし、また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の発生費用や修理・訂正に要する費用はお客様の負担とします。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害について何らの責任も負いません。

著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます (データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、ライセンスをお読みください。

本製品に組み込まれた GPL の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、GPL をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。

1.2. その他（GPL/LGPL 以外）のライセンスについて

本製品では第三者が規程したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用します。それぞれの著作権表示および詳細なライセンスについては3項をご確認ください。

(1)免責事項

GPL/LGPL 以外のソフトウェアは、各著作権者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されており、明示黙示を問わず、商業的な使用可能性、および特定の目的に対する適合性に関する暗黙の保証も含め、またそれに限定されない、いかなる保証もありません。

それぞれの著作権者もコントリビューターも、事由のいかんを問わず、損害発生の原因いかんを問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか（過失その他の）不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した（代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない）直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。

1.3. オープンソースソフトウェアとライセンスタイプ

※ソフトウェアのライセンスは2項によりお問い合わせください。

※オープンソフトウェアは、OSS フォルダに格納されています。

本製品は、Linux (OS:Ubuntu、フレームワーク:Yocto) を使用していますので、フォルダ構成は、OS およびフレームワークに準じています。

※アプリケーションソフトウェアは、APP フォルダに格納されています。

No	オープンソースソフトウェア ファイル名またはフォルダ名	ライセンスの種類
1	volatile-binds	MIT License
2	cross-localedef-native_2.30.bb	LGPL-2.1
3	glibc	GPLv2 & LGPLv2.1
4	uim	BSD-3-Clause & LGPLv2+
5	ttf-vlgothic_20141206.bb	BSD
6	ttf-sazanami_20040629.bb	PD
7	setxkbmap_1.3.2.bb	MIT-X
8	glibc-locale.inc	GPLv2 & LGPLv2.1
9	timezone	PD & BSD & BSD-3-Clause
10	mysql	GPL2.0
11	wayland	MIT
12	weston	MIT
13	gtk+	LGPLv2 & LGPLv2+ & LGPLv2.1+
14	ntp	NTP
15	perl	Artistic-1.0 GPL-1.0+
16	gcc	GPL-3.0-with-GCC-exception & GPLv3
17	bash	GPLv3+
18	openssh	BSD & ISC & MIT
19	linux-tn-imx	GPL-1.0 & ISC & Linux-OpenIB & X11 & Apache-2.0 & CDDL-1.0 & MPL-1.1 & GCC-exception-2.0 & Linux-syscall-note & BSD-2-Clause & BSD-3-Clause & BSD-3-Clause-Clear & GPL-2.0 & LGPL-2.0 & LGPL-2.1 & MIT

2. オープンソースソフトウェアの開示請求を行う場合

2.1. アクセス方法

①東光東芝メーターシステムズのホームページにアクセスください。

[https:// www.t2ms.co.jp/contact.htm](https://www.t2ms.co.jp/contact.htm)

②お問い合わせの「記入フォーム」にアクセスください。

2.2. お問い合わせの記入方法

記入フォームの「件名」および「お問い合わせ内容」は以下のとおり入力し、その他の項目はお客様情報を入力ください。

件名 : 「製品・サービスに関するお問い合わせ」を選択

お問い合わせ内容 : 先頭に「オープンソースの開示について」を記載

問い合わせ先

東光東芝メーターシステムズ株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-13 8 東洋海事ビル 5 階

TEL 03-6371-4359

FAX 03-6371-4332

製品に関するお問い合わせは、下記の弊社ホームページ『お問い合わせフォーム』をご利用ください。

[https:// www.t2ms.co.jp/contact.htm](https://www.t2ms.co.jp/contact.htm)

自動検針装置 TOSCAM-B13 開示説明書（ライセンス情報）

初 版 2024年 2月
第2版 2024年 9月
第3版 2024年10月

著作権所有 東光東芝メーターシステムズ株式会社

この資料の一部を当社の許可なく、他に転用することを禁じます。また、この内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

IM-3112457-2